



皆様の「快適な暮らし」のヒントに

# すまい造りメール

第77号 2008年8月号

SINCE 2002.4.1.

発行日平成20年7月24日  
発行元有限会社佐野工務店  
〒237-0068  
横須賀市追浜本町1-25  
TEL 046(865)4010  
FAX 046(865)6139  
http://www.sano-k.net/  
info@sano-k.net

## 江戸しぐさ

かつて江戸時代には、お互いを思いやり助け合う「江戸しぐさ」という心遣いが浸透していました。腰をこぶし分だけ浮かせて席を詰めて空席をつくる「こぶし腰浮かせ」や、雨の日の狭い道などで、お互いの傘を外側に傾け、道を譲り合いながら、濡れないようにすれ違う「傘かしげ」や、謝る相手に対し逆に「私もうかつでした」と謝り、その場を和ませる「うかつあやまり」などがその例です。

現代の世相に鑑みて、粋な江戸の人々の知恵と道徳の結晶である思草が見直されてきています。

「ハ～イ。レッスンで～す。」



これらの思草がさりげなくできたら、「チャミング～ッ！」24時間走り続けて、「ランニング～ッ！」

「My, my, my, my Sharona！」

オープンして3年目を迎えた、追浜こみゆに亭&ワイナリーでは、毎月第3金曜日を「ワインの日」と制定し、この日は、通常の営業時間より3時間延長して、午後8時まで営業しています。喫茶店「とれび庵」では、新鮮でおいしいと評判の山形と長野の産直野菜と一緒に、「横須賀おっぱまワイン」を味わうことができます。第3金曜日の夜は、横須賀おっぱまワインを買って帰りましょう。

## ワインの日

毎月第3金曜日
ワインの日
<del>6月20日(金)</del>
<del>7月10日(金)</del>
8月15日(金)
9月19日(金)
10月17日(金)
11月21日(金)
12月19日(金)

山形産・長野産
野菜リスト
人気ベスト5
トマト 380円
きゅうり 140円
にんにく 250円
かぼちゃ 480円
枝豆 400円

お休み処
とれび庵
人気ベスト3
ピザトースト 200円
チーズトースト 150円
りんごジュース 200円



※ 野菜の金額は、産地や季節によって多少異なります。また、人気ランキングも、その日より異なります。目安程度とお考えください。

追浜こみゆに亭&ワイナリー TEL 046(865)2625

ONE FINE DAY

毎月第3金曜日  
ワインの日  
追浜こみゆに亭  
&  
ワイナリー

## 住まいとくらしの文化祭

安心安全・環境共生・健康介護・地域密着をテーマに、リフォームを研究する工務店のネットワーク「かながわりリフォームコックさん」では、毎年恒例の夏のイベント「住まいとくらしの文化祭」を開催します。防犯教室、料理教室などの講座が開講されるほか、弦楽四重奏、昔懐かしい鉛細工や似顔絵などのパフォーマンスもありますので、ご家族連れでいらしてください。プレゼントが当たる大抽選会で素敵なグッズを「ゲッツ！」しましょう。



かながわりリフォームコックさん

「住まいとくらしの文化祭」

平成20年8月23日(土) 10:00～17:00

トステム横浜ショールーム

(横浜ランドマークタワー12階)

## ざっくばらん 雑句芭欄

夏  
の  
夜  
は  
ま  
だ  
宵  
な  
が  
ら  
明  
け  
ぬ  
る  
を  
雲  
の  
い  
づ  
こ  
に  
月  
宿  
る  
ら  
む

清原深養父

「夏の夜は短くて、まだ宵だと思っているうちに明けてしまったけれど、あの美しい月は、いったい雲のどの辺りにあるのだろう。」

寝不足気味の朝は、太陽がまぶしく感じられます。



## ローカル・ニュース 地元情報

8月9日(土) 16:00～21:00

「フェスタよこすか夏の舞」

踊りをテーマとした各種パフォーマンスの祭典

## クイズ(第76号)の答え

日本人の豊かな感性が育んだ日本の伝統色で、深い黄緑色で、緑より薄く、萌葱色より濃い色は、①苔(こけ)です。庭園に優雅な趣を添える日本の代表的な色です。

## クイズ 問 眩只和

日本の伝統色で、黒みのある緑色で、源氏物語にも登場する色は、次のうちどれでしょうか。

- ①海松(みる)
- ②松葉(まつば)
- ③木賊(とくさ)
- ④萌葱(もえぎ)

## 次号予告

秋の行楽地や地域情報などについて取り上げる予定です。

## 「まろは、皆人に許されたれば」

「源氏物語」は、平安時代中期頃に成立した全五十四帖からなる長編物語です。源氏物語が宮中で評判になったという「紫式部日記」の記述に登場して以来、2008年でちょうど1000年になります。

1000年にもわたり愛され続け、「名作」や「古典」の代表である源氏物語ですが、物語の中の光源氏の行動を現在に置き換えると、人の家を覗いたり、待ち伏せをしたり、連れ去ったりと、訴えられても言い訳ができないような大変なことをしています。それにも関わらず、光源氏は、「まろは、皆人に許されたれば（私はすべて許されているから）」（花宴巻）と、まったく、反省しておりません。したがって、江戸時代には、儒学者に「不道德な」本であると攻撃されたり、昭和戦前戦中期には、フィクションにも関わらず、天皇、皇族に関する「不敬な」内容であると指摘されたりといった受難の時代もありました。しかしながら、源氏物語は、ボリューム、ストーリー、文学的な意義といったあらゆる点において、王朝物語のみならず日本文学史上の傑作であり、後世に与えた影響は計り知れません。

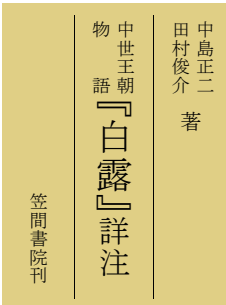
現在、「源氏物語千年紀」を記念して、さまざまなイベントが展開されています。横浜美術館では、2008年8月30日～11月3日まで、「源氏物語1000年～あこがれの王朝ロマン～」と題して、絵画化された源氏物語（源氏絵）や、豪華絢爛な美術品が展示される特別展が開催されます。



江戸時代、大名や公家のお姫さまが、お嫁入りする際に、達筆な文化人に依頼して源氏物語を書き写させ、豪華に装飾された箱に入れて持たせる（嫁入り本）といった習慣がありました。また、徳川幕府の記録である「徳川実記」には、大名が能筆家に書かせた源氏物語を将軍家に献上したという記述が見られます。高級な贈り物として喜ばれていたことがわかります。（資料提供・中島正二氏）

←中世王朝物語『白露』詳注 著者:中島正二/田村俊介 笠間叢書 8,925円(税込)

『白露』は、鎌倉・室町時代に作られた、源氏物語の影響の色濃い「擬古物語」「中世王朝物語」と呼ばれる物語の一つで、この本は、詳しい語釈で作品の真の面白さを伝える労作とされています。

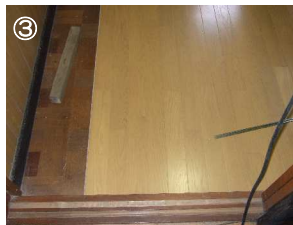
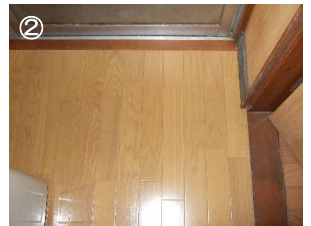
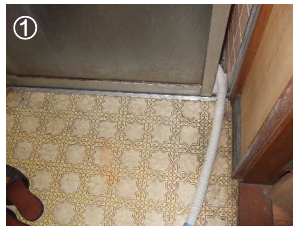


## 「前略 おせわ様。その後いかがお過ごしですか。」

昭和53年の増築工事以来、住宅設備のメンテナンスをはじめ、屋根や外壁の補修工事を担当させていただいているお住まいをご紹介します。

今回は、洗面室や居間などの床の張替え工事です。洗面室は汚れが目立ってきたクッションフロアを剥がし、浴室との境の下地を補強して、耐水性・耐汚染性に優れたフローリングを施工しました。居間の床は、下地を補強しながら、既存のフローリングの上から、新しいフローリングを施工し、敷居との段差をなくしました。

「劇的な」リフォームではないかも知れませんが、ピフォア一、アフター、さらにそのアフターまでお手伝いさせていただきます。



- ①施工前のクッションフロアの洗面室の床
- ②下地を補強した後に段差を調整し、フローリングを施工
- ③フローリングを施工中の居間の床

### お問い合わせ

住まいに関する皆様の疑問や質問、お知らせしたいことや情報などがございましたら、ご連絡ください。また、クイズのご回答もこちらにお寄せください。ハガキや封書、FAX、メールでもお受けします。お名前とご連絡先を忘れずにご記入ください。正解された方の中から抽選で毎月1名の方に、その号に関連したプレゼントをお送りしています。尚、郵送の停止を希望される場合は、恐れ入りますが、ご連絡ください。

ホームページより「すまい造りメール」創刊号からのバックナンバーをダウンロードできますので、アクセスしてください。皆様の「快適な暮らし」のヒントになることができましたら幸いです。

〒237-0068 横須賀市追浜本町1-25 有限会社佐野工務店 TEL 046(865)4010 FAX 046(865)6139